

事業番号	10 04 03	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検			
事業名	森林病虫害防除事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課				
		実施期間	S56 ～	E-mail	shinrin @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

- ・松くい虫の被害量は平成25年度をピークに減少傾向であったが、令和4年度から微増傾向であり予断を許さない状況にあるため、守るべき松林と周辺松林を集中的に対策を行い、被害の拡大を防止する必要がある。
- ・予防対策として空中散布等の松くい虫対策を実施する際には、丁寧な説明による地域住民との合意形成が必要。
- ・カシノナガキクイムシの被害量は、近年増加傾向であり、早期発見による駆除とライフライン等への倒木防止対策が必要。

2 事業目的

急峻で脆弱な県土の防災や、信州の原風景の保全上重要な役割を果たしているアカマツ林等を保全するとともに、木材やマツタケ等の林産物の生産を確保するため、松くい虫等被害区域の拡大防止を図る。

3 事業目的を達成するための取組

- ① 予防事業（薬剤散布等）
- ・守るべき重要な松林への松くい虫被害を予防するために広範囲で行う薬剤の空中散布を実施
 - ・天然記念物や史跡名勝、文化財等に指定されている貴重な松林への松くい虫被害を予防するために単木的に行う薬剤の樹幹注入を実施
- ② 駆除事業（被害木の伐倒駆除）
- ・守るべき松林や周辺松林で発生した松くい虫被害木の伐倒駆除を重点的に実施し、被害拡大の防止を図る
- ③ カシノナガキクイムシによる広葉樹被害の予防及び駆除
- ・カシノナガキクイムシによる広葉樹被害（ナラ枯れ）の予防及び駆除を実施し、被害の拡大の防止を図る
 - ・被害木に加え、未被害木も併せて伐採・搬出し、地域内で活用可能な木材資源の利用・被害対策を支援

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし ―：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度		R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①②	松くい虫被害対策対象森林の被害面積	ha	12,058	9,251	↗	12,098	↘	12,058	未達成	対策対象松林での被害面積を前年度以下に抑制することを目標とする。
③	カシノナガキクイムシ被害量	m	3,413	8,506	↘	9,066	↘	8,400	未達成	カシノナガキクイムシ被害量を前年度以下に抑制することを目標とする。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
1-2①	災害に強い県づくりの推進										

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R7年度	100,335	144,643	56,530	301,508	120,469	193,293	12.0
R6年度	0	161,812	52,130	213,942	89,711	111,848	12.0
R5年度	0	171,269	14,543	185,812	57,312	183,558	12.0

事業番号	10 04 03	事業改善シート（令和 7 年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	森林病虫害防除事業		部局	林務部	課・室	森林づくり推進課			

7 主な取組実績と成果

①予防事業（薬剤散布等） ・守るべき重要な松林への松くい虫被害を予防するために、マツノマダラカミキリが羽化する 6 月の適期にヘリコプターや人力による薬剤散布を行った（空中散布211ha、地上散布33ha）ことにより、発生抑止に寄与した。 ・天然記念物や史跡名勝、文化財等に指定されている貴重な松林への松くい虫被害を予防するために単木的に行う薬剤の樹幹注入を 2 地区 135本の松で実施し、被害発生を抑止した。
②駆除事業（被害木の伐倒駆除） ・守るべき松林や周辺松林で発生した松くい虫被害木について、国庫や県単予算による伐倒駆除（6,723㎡）を実施したが、昨年度の被害発生面積率19%から24%に増加し、被害対策対象松林における被害が拡大する結果となった。
③カシノナガキクイムシによる広葉樹被害の予防及び駆除 ・ナラ枯れをもたらすカシノナガキクイムシは、初夏に被害木から脱出し、健全な広葉樹（ナラ類）に新たに飛来する 5 月から 7 月にかけて、被害木の早期発見、早期対策（被害木伐倒駆除 297㎡、立木くん蒸179本）を実施することで被害の拡大を最小限に抑えることができ、被害のまん延防止が図られた。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①②	松くい虫被害対策対象森林の被害面積	R6年度推移	↗	R7年度推移	↘	達成状況	未達成
松くい虫防除対策として予防事業と駆除事業の促進を図り被害が減少・抑制された地域もあるが、局所的に増加した地域があり、県全体としては目標は未達成となった。							
指標 ③	カシノナガキクイムシ被害量	R6年度推移	↘	R7年度推移	↘	達成状況	未達成
カシノナガキクイムシ枯損木の早期発見、伐倒駆除対策を実施しているが、令和 7 年度は、夏季の高温と降水量が少なかったことによりカシノナガキクイムシの活動の活発化、樹木の萎凋を助長したことにより被害が増加したことが推測され、目標は未達成となった。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題
・松くい虫被害量については平成25年度をピークに減少傾向であり、駆除対策による一定の効果が見られる。令和 7 年度は前年度より被害量は減少したが、被害面積は増加しており、被害は高止まりの状況である。予算、労務等の制約から駆除対策に限界があることから、守るべき松林とその周辺に特化した対策が必要。 ・予防対策として、空中散布等による松くい虫対策を集中して実施するためには、地域住民との丁寧な合意形成が必要。 ・カシノナガキクイムシによる広葉樹の枯損被害について、枯損木が増加したことにより令和 7 年度は前年度被害量より増加しているため、早期発見と駆除に併せ未被害木の活用・被害対策を図っていくことが必要。
(2) 事業改善の方策
・守るべき松林を必要に応じて見直し、選択と集中により重要度の高い箇所対策を実施 ・事業実施のための予算確保と、地域住民との合意形成が引続き得られるよう、森林保護専門員による技術支援を継続 ・カシノナガキクイムシ被害の対策として、ライフライン等に近接した被害木の早期発見と適期の駆除を実施

事業番号	10 04 03	細事業一覧（令和 7 年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	森林病虫害防除事業		部局	林務部	課・室	森林づくり推進課	

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	松林健全化推進事業		174,907 千円	103,457 千円	178,299 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	被害木調査及び駆除指導	直接	被害の早期発見と診断を実施し、感染が確認された場合は駆除等の技術指導を実施		
			早期診断件数194件、金額 305千円		
2	被害木の駆除事業	補助金	松くい虫被害木の伐倒駆除		
			駆除量（国庫4,656㎡ 県単2,067㎡）、補助総額 151,590千円		
3	樹幹注入剤利用松林保全対策事業	補助金	特に重要な松林における薬剤樹幹注入による被害予防		
			薬剤樹幹注入件数135本、補助総額 2,250千円		
4	薬剤散布事業	補助金	守るべき重要な松林において行う薬剤の散布及び市町村が行う環境影響調査		
			大気・水質調査 8 市町村 198検体、無人ヘリコプター散布 2 市町 21.0ha、空中薬剤散布 8 市町村 190ha 他、補助総額 19,390千円		
5	環境影響調査委託費	直接	空中薬剤散布（特別防除）の昆虫類、大気・土壌への影響調査（国との契約による県の調査）		
			昆虫類調査 1 地区 3 回 金額 3,025千円 ※大気・土壌への影響調査は入札不調により未実施		
6	松くい虫対策見える化・管理事業	直接	被害先端地域や高標高地における松くい虫被害木の単木発生位置情報の見える化		
			地域区分図の更新 1 回、被害レベルマップの更新 1 回、金額 1,739千円		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	広葉樹等枯損対策事業		8,651 千円	8,391 千円	14,994 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 7 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	被害木の駆除事業 等	補助金	カシノナガキクイムシによる広葉樹の被害木の伐倒駆除、立木くん蒸及び未被害広葉樹の活用		
			被害木伐倒駆除 297m³、立木くん蒸 179本、未被害木予防伐倒34m³		